

単位数	教科担当者	使用教科書・補助教材・その他
4	土屋 斎嘉	使用教科書「詳説 世界史」 (山川出版社)
必履修 学校必履修 ○必修選択 自由選択		補助教材 「グローバルワイド 最新世界史図表」 (第一学習社) 「世界史用語集」 (山川出版社)

## ◆学習の目標

- ・世界の歴史を総合的に理解させ、歴史的な見方・考え方を育て、国際社会に主体的に生きる公民としての資質を養う。
- ・各地域世界の成立過程について深く学習してその特徴を知り、現代の各地域や諸国の歴史的・文化的背景を理解させることを重要な目標とする。
- ・大学への進路実現を目指し、受験に対応できる学力を培う。

## ◆主な学習内容・方法

- (1) 教科書第1～11章
- (2) 教科書と授業プリントを中心教材として、随時副教材を使用しながら世界史の古代から中世史と近代史を、主として講義形式で学習する。

## ◆到達目標と観点別評価の評価規準

## 〔標準〕

- ・原始～近世の歴史的諸事象を、時間・空間を軸に理解し、把握する。
- ・事象の内容や事象間の因果関係を的確・簡潔に表現する。

## 〔応用〕

- ・世界の一体化する以前の諸地域の特質を理解し、現代における諸文化の理解の一助とする。

## 〔観点別評価の評価規準〕

## ○知識・技能

世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

## ○思考・判断・表現

世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

## ○主体的に学習に取り組む態度

世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

◆年間予定授業時間

予定時数	1 4 0 時間	1 学期 ( 5 2 時間)	2 学期 ( 5 6 時間)	3 学期 ( 3 2 時間)
------	----------	----------------	----------------	----------------

◆学習のしかた（予習・復習・宿題・課題・その他）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習…教科書を事前に通読する。教材プリントを行う。</li> <li>・復習…板書ノートと教科書・「グローバルワイド 最新世界史図表」等に関連させて、整理する。</li> <li>・課題…演習プリントを適時行う。</li> <li>・その他…補習や夏季補習も授業に関連させて、活用することを勧める。</li> </ul>
--

◆授業計画

学 期	月	単元・教材等	単元 ごとの 時間数	学習の内容	学習到達目標
1 学 期	4	「世界史へのまなざし」	1 1 0	世界史へのまなざし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエン特諸民族の興亡とイラン文明について理解できる。</li> <li>・エーゲ文明とギリシア文明の世界的意義を理解できる。</li> <li>・ローマ帝国の盛衰と世界的意義を説明できる。</li> <li>・キリスト教成立の背景とその影響を理解できる。</li> <li>・イスラーム教の成立と発展の過程を理解できる。</li> </ul>
	5	「諸地域の歴史的 特質の形成」	7	文明の成立と古代文明の特質 中央ユーラシアと東アジア世界 南アジア世界と東南アジア世界 の展開	
	6		7	西アジアと地中海周辺の状態形成	
	7	「諸地域の交流・再編」①	1 0	イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成 イスラーム教の伝播と西アジアの動向	
2 学 期	8	「諸地域の交流・再編」②	1 0	ヨーロッパ世界の変容と展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中世ヨーロッパ世界の形成過程を説明できる。</li> <li>・東欧と正教会の盛衰を理解できる。</li> <li>・十字軍と中世都市の発展、封建社会の変容を表現できる。</li> <li>・ヨーロッパ世界の拡大の世界的意義を説明できる。</li> <li>・ルネサンスや宗教改革の相互の関連や歴史的意義を理解できる。</li> <li>・主権国家体制の形成の現代につながる問題について表現できる。</li> </ul>
	9		1 2	東アジア世界の展開とモンゴル帝国	
	10		1 2	大交易・大交流の時代	
	11		1 2	アジアの諸帝国の繁栄	
	12		1 0	近世ヨーロッパ世界の動向	
3 学 期	1	地域史・テーマ史	3 2	大学入試問題演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学入試問題を解き、論述問題などを多面的、多角的に表現できる。</li> </ul>
	2				
	3				